

PRESS RELEASE

2015年3月2日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

自社開発第1号のメガソーラーの売買契約を締結

～信託受託者たる三菱UFJ信託銀行(株)に売却予定～

【東京－2015年3月2日】ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場二丁目3番2号、以下：ソーラーフロンティア）は、保有する「ソーラーフロンティア(株)国富太陽光発電設備」（所在地：宮崎県東諸県郡国富町大字木脇、総出力：直流出力2.32MW/交流出力1.996MW、以下：国富メガソーラー）の設備及び関連契約上の地位・権利義務を、信託受託者たる三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：若林辰雄、本社：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号）に対して売却する契約を、2015年2月24日付で締結しましたので、お知らせ致します。

ソーラーフロンティアは、CIS薄膜太陽電池の製造・販売に留まらず、大規模太陽光発電所（メガソーラー）の開発・資金調達・O&M（運転管理・保守点検）をワンストップで可能とする体制を構築してきました。また自社で開発・運営するメガソーラーについては、売電に加えて、完工リスク等の回避を望むIPP事業者や投資家に売却するモデルを含む、案件に応じた最適な選択肢の検討を行っています。このたび売却が決まった国富メガソーラーは、自社開発第1号のメガソーラーとして2013年3月に稼働を開始しました。

また、売却後の国富メガソーラーの保守・運営は、ソーラーフロンティアがO&M業者として委託を受け、引き続きその運営に関与していく予定です。今回の売却決定は、CIS薄膜太陽電池の優れた実発電量に基づく、国富メガソーラーの高い経済性に加え、売却後のソーラーフロンティアによる保守・運営体制が評価された結果であると考えております。

ソーラーフロンティアは、国富メガソーラーの開発・運営・売却によって得られた知見を活かしながら、国内外でメガソーラー発電事業を今後とも積極的に推進してまいります。

以上

【発電所概要】

現名称	ソーラーフロンティア（株）国富太陽光発電設備
現発電事業者	ソーラーフロンティア株式会社
所在地	宮崎県東諸県郡国富町大字木脇
総出力	DC 2.32MW/AC 1.996MW
運転開始	2013年3月

【発電所写真】（写真右側が当該発電所）**【ソーラーフロンティア株式会社について】**

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社（5002, T）の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場（公称生産能力900メガワット）は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVm 認証（JIS Q 8901）」などの第三者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞（製品・技術開発部門）、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
吉田・高橋 TEL: 03-5531-5792